

【研修報告】

医学生と看護学生における喫煙に関する知識

— 国際学会での発表を終えて —

川 根 博 司*

はじめに

将来の医師や看護婦を目指して勉強している学生は、喫煙と健康についての基本的知識が備わっていることが期待される。わが国で喫煙は大きな健康問題となっているが、筆者らは川崎医科大学の新入生における喫煙に関する知識について調査し、喫煙の健康への影響を知らない者が多いことをすでに報告した(川根ら, 2000)。さらに、筆者は日本赤十字広島看護大学の1年生に対しても同様の調査を行い、本紀要に報告している(川根, 2001)。

今回、これら2つの調査結果を合わせたものを第32回国際結核肺疾患予防連合 肺の健康に関する世界大会(32nd IUATLD World Conference on Lung Health)において発表する機会を得たのでここに紹介する。

対象と方法

平成12年(2000年)度に川崎医科大学および日本赤十字広島看護大学へ入学した1年生それぞれ103人、139人を対象に、喫煙に関する知識を尋ねる小テストを実施した。小テストの問題は平成12年の第94回医師国家試験に出されたものを利用した(表1参照)。

表1 小テストの問題と解答

問題:	正しいものに○, 誤っているものに×をつけなさい。
問1	我が国の成人男性の喫煙率は漸減傾向にある。
問2	我が国の20歳代の女性の喫煙率は増加傾向にある。
問3	受動喫煙の影響を防止するため分煙対策がとられる。
問4	たばこの煙は一酸化炭素を含む。
問5	喫煙の急性影響として血圧が低下する。

解答: 問1○, 問2○, 問3○, 問4○, 問5×

医学生の場合は4月の新入生オリエンテーションにおいて「喫煙か健康か」と題する講話をする際に小テストを行ったが、看護学生に対しては12月の「医学概論」定期試験問題の1つとして出題した。

結果および考察

医学生と看護学生における各問題の正解者数(率)をみてみると、それぞれ問1は27人(26.5%), 72人(51.8%), 問2は97人(95.1%), 111人(79.9%), 問3は77人(75.5%), 86人(61.9%), 問4は62人(60.8%), 92人(66.2%), 問5は28人(27.5%), 39人(28.1%)であった。全問正解者は医学生で3人(2.9%), 看護学生で7人(5.0%)しかいなかった。

喫煙に関する問題が医師国家試験に出たのは、筆者の知る限りではこれが初めてである。医師国家試験用として考えると、問1~3は公衆衛生学、問4, 5は薬理学、生理学に関連しての出題といえる。しかしながら、問1~4は医学教育を受けていなくても解ける常識問題のように思われる。それにもかかわらず、医学生の4割近くと看護学生の約1/3が、タバコの煙に一酸化炭素が含まれていることを知らなかったのは驚きであった。植物が燃えると一酸化炭素が発生することは科学的事実であり、小中学校の理科の授業で習うはずである。

わが国において大学1年生の喫煙に関する正確な情報や知識の不足が示唆されるが、日本の小中高校の理科教育を抜本的に見直す必要があるのではなかろうか。また、少なくとも一度は大学入学時のオリエンテーションなどで、タバコに関する正しい情報提供が学生に対してなされるべきであろう。

なお、今回の世界大会で発表した演題の要旨は、学会誌・増刊号に英文抄録が掲載されていることを記しておく(Kawane, 2001)。

* 日本赤十字広島看護大学

おわりに

今回の第32回IUATLDは2001年11月1日から4日までフランス・パリで開催されたが、同年9月11日に起きたアメリカ同時多発テロの影響で発表予定者の欠席が例年よりも目立ったように思う。しかし、パリの街の観光客も減ってくれたおかげで、学会の合間にルーブル美術館やオルセー美術館などをゆっくり見学して回ることができた。残念ながらエッフェル塔には上れなかったが、コンコルド広場にある大観覧車からパリの美しい夜景を楽しみ、セーヌ川ディナークルーズでは環境タバコ煙に悩まされながらもフランス料理に舌鼓を打った。最盛期ほどではないとはいうものの、シャンゼリゼ大通りにあるルイ・ヴィトン本店は相変わらず日本人でにぎわっているようだった。

謝 辞

今回の国際学会に出席する機会を与えて下さいました本大学および関係者の方々に感謝いたします。

文 献

- 川根博司, 松島敏春 (2000). 医師国家試験問題を利用した医大新生における喫煙の知識に関する調査. 川崎医学会誌, 26 (3), 135-137.
- 川根博司 (2001). 看護学生における喫煙の知識に関する調査. 日本赤十字広島看護大学紀要, 1, 29-32.
- Kawane, H. (2001). Knowledge of smoking among first-year students in a medical school and a nursing college, The International Journal of Tuberculosis and Lung Disease, 5 (11), S224.